

「数理情報工学的意思決定とその応用」研究部会終了報告

01704426 京都府立大学
01109114 流通科学大学* 吉富 康成 YOSHITOMI Yasunari
小出 武 KOIDE Takeshi

1. 緒言

本研究部会は、吉富と小出を各々主査と幹事として平成14年度から活動を始めた。会合を関西地区で開催し、年4~5回実施した。毎回2件の講演を中心とし、交流会や年1回の酒蔵見学会も企画した。

本研究部会では数理計画法や最適化手法に関する理論研究、応用研究等に関する話題提供をいただき、関西地区の学会員等の相互交流や情報交換を行ってきた。また、海外の研究者の来日に合わせて会合を開き、海外での数理計画法などの研究講演をしていた。さらに、関係のある他学会で活躍されている研究者の講演も企画した。本稿では、本研究部会の終了報告として、活動の概要を報告する。

2. 活動状況

平成14年度第1回 (4月2日(火))

場所：京都府立大学6号館ホール2

テーマと講師：

(1) 「メタヒューリスティクスによるスケジューリングアルゴリズム」

野々部 宏司 (京都大学大学院情報学研究科)

(2) 「循環型搬送システムのシミュレーション、解析、最適化」

木瀬 洋 (京都工芸繊維大学工学部)

平成14年度第2回 (5月17日(金))

場所：流通科学大学 研究棟3 3101 会議室

テーマと講師：

(1) 「多目的評価のランク別投票結果から DEA モデルによる優先順序付け法について」

野口 博司 (流通科学大学商学部)

(2) 「経済構造の改革に資産運用を」

甲斐 良隆 (三菱信託銀行)

平成14年度第3回 (7月29日(月))

場所：大阪大学 工学部応用物理学科 P2-432 会議室

テーマと講師：

(1) 「確率過程による船体応答の統計量分布のモデル化」

箕浦 宗彦 (大阪大学大学院工学研究科)

(2) 「A study on land valuation model applying with Fuzzy quantification theory I」

李 泳龍 (長榮管理學院土地管理與開發學系)

平成14年度第4回 (12月16日(月))

場所：京都教育文化センター 会議室 203

テーマと講師：

(1) 「メタヒューリスティックに対する確率的解析のアプローチ」

加地 太一 (小樽商科大学商学部)

(2) 「一般的な時間枠付配送計画問題に対するメタ戦略の開発」

柳浦 睦憲 (京都大学大学院情報学研究科)

平成14年度第5回 (3月4日(火))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「不確実性科学」研究部会、及び日本経営システム学会関西支部との共催

会場：兵庫県西宮市大学交流センター 講義室 1

テーマと講師：

(1) 「リスク尺度に関する最近の話題から」

大西 匡光 (大阪大学大学院経済学研究科)

(2) 「航空旅客輸送市場のモデル化：HS キャリア vs PP キャリア」

竹林 幹雄 (神戸大学工学部)

平成15年度第1回 (6月9日(月))

場所：京都府立大学 附属図書館視聴覚室

テーマと講師：

(1) 「マスカスタマイゼーション対応型の生産管理方式の設計と運用—自動車産業のサプライチェーンを事例に—」

上野 信行 (広島県立大学経済学部)

(2) 「バイオインフォマティクスにおけるグラフアルゴリズムとカーネル法」

阿久津 達也 (京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンター)

平成15年度第2回 (9月5日(金))

場所：流通科学大学 研究棟3 3101 会議室

テーマと講師：

(1) 「総頂点間経路長を最小にする完全K分木への辺追加問題」

澤田 清 (流通科学大学情報学部)

(2) 「自己安定とそのアドホックネットワークへの応用」

木庭 淳 (神戸商科大学商経学部)

平成15年度第3回 (11月21日(金))

日本オペレーションズ・リサーチ学会本部主催関西支部定例講演会として開催、本研究部会の共催

場所：大阪大学 銀杏会館

テーマと講師：

(1) 「A returns policy for distribution channel coordination of perishable items」
Hark Hwang (Dept. of Industrial Engineering, Korea Advanced Institute of Science and Technology, Korea)

(2) 「Some open question of fair division」

Milan Vlach (法政大学経済学部)

平成15年度第4回 (12月19日(金))

場所：大阪大学 工学部応用物理学科 P1-212 会議室

テーマと講師：

(1) 「残留農薬を考慮した農業計画について」

伊藤 健 (流通科学大学情報学部)

(2) 「ラフ集合と決定解析：データからの決定ルールの抽出」

乾口 雅弘 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

平成15年度第5回 (3月27日(土))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「不確実性科学」研究部会との共催

場所：京都大学 法経総合研究棟 105 演習室

テーマと講師：

(1) 「多目的組合せ最適化問題の解法とソフトウェアのテスト工程管理への応用」

伊佐田 百合子 (帝塚山大学経営情報学部)

(2) 「売るならどっち、買うならどっち、どっちもどっち—独占市場における最適重量品質保証政策—」

三道 弘明 (流通科学大学情報学部)

平成16年度第1回 (6月12日(土))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「情報数理と決定科学」研究部会との共催

場所：大阪大学 基礎工学部 D122 室

テーマと講師：

(1) 「サポートベクトルマシンを用いたパターン識別について」

巽 啓司 (大阪大学大学院工学研究科)

(2) 「ファジィクラスタリングの基礎と局所的なデータ解析への応用について」

本多 克宏 (大阪府立大学大学院工学研究科)

平成16年度第2回 (7月17日(土))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「情報数理と決定科学」研究部会との共催

場所：京都府立大学 附属図書館視聴覚室

テーマと講師：

(1) 「インターネットのモデル化と最適化問題」

伊藤 大雄 (京都大学大学院情報学研究科)

(2) 「e-Karush-Kuhn-Tucker 条件と具体例」

横山 一憲 (富山大学経済学部)

平成16年度第3回 (12月11日(土))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「情報数理と決定科学」研究部会との共催

場所：西宮市男女共同参画センター ウェーブ

テーマと講師：

(1) 「土木分野におけるラフ集合の適用」

広兼 道幸 (関西大学総合情報学部)

(2) 「ビジネス情報システムの研究・開発を振り返って」

辻 洋 (大阪府立大学大学院工学研究科)

平成16年度第4回 (2月22日(火))

日本オペレーションズ・リサーチ学会関西支部「情報数理と決定科学」研究部会、「不確実性環境下における決定過程の理論と実践」研究部会との共催

場所：兵庫県立神戸学習プラザ

テーマと講師：

(1) 「The effects of strategies and organizational culture on organizational performance」

Tzai-Zang Lee (Dept. of Industrial and Information Management, Kun Shan University of Technology, Taiwan)

(2) 「画像情報処理における最適化—2 値化と電子透かし—」

吉富 康成 (京都府立大学人間環境学部)

3. 結言

本研究部会は、平成14、15年度については関西支部の研究部会を兼ねてきた。講演者を始め本研究部会の活動にご協力いただいた皆様に深く感謝する。